

# 韓国語を母語とする日本語学習者による漢字の 書き取りに関する研究

—学習者の語彙力と漢字が含まれる単語の使用頻度の影響—

宮岡 弥生  
(広島経済大学)

玉岡 賀津雄  
(名古屋大学)

林 炫情  
(山口県立大学)

池 映任  
(東京大学・日本学術振興会外国人特別研究員)

## キーワード

漢字, 韓国語母語話者, 日本語学習者, 語彙使用頻度, 音韻的類似性

## 要旨

日本語と韓国語はともに漢字文化圏にあるといわれているが、現在、韓国ではハングル専用が完成されており、日常生活で漢字が用いられることは少ない。そのため、韓国語母語話者は、漢字の音韻的表象は持っているが書字的表象は持っていないと考えられる。そこで本研究では、韓国語を母語とする日本語学習者がどのような漢字想起と書字のメカニズムを用いているのかを明らかにするために、漢字二字熟語の書き取りテストを実施し、漢字二字熟語の記憶に対する①語彙使用頻度、②学習者の日本語能力の高低、③日本語と韓国語の語彙の音韻的類似性の影響を検討した。分析の結果、①漢字二字熟語の記憶に対する語彙使用頻度の影響が見られた。このことから、韓国語を母語とする日本語学習者は、日本語母語話者と同様に、日本語の漢字二字熟語を一字単位ではなく二字単位で捉えて記憶している可能性があると考えられる。②学習者の日本語能力については、語彙力の高いグループのほうが、低使用頻度語彙の記憶において特に優れていた。③音韻的類似性は、漢字二字熟語の記憶に対する影響が見られなかった。

## 1. はじめに

漢字は、形(字体)・音(発音)・義(意味)の三要素で構成されており、その一字一字が語(word)をあらわすという「一字一語」の原則につらぬかれた文字である(大島2006)と言われている。しかし、日本語において、本当に一漢字が一語という機能を果たしているのかという意見もある(田島2006)。たとえば、『論語』の語彙調査における中国人研究者と日本人研究者との調査比較(陳2001)によると、中国では一字語の占める割合が74.9%で二字語が24.9%であるのに対して、日本では一字語は35.6%にすぎず、二字語が54.8%も占めていたということである。つまり、同じ文献を扱いながら、一字語、二字語の把握の仕方の割合が日本と中国とでは逆転しているのである(田島2006)。このように、日本語では二字の漢字によって一語を示す(田島2006)傾向がある。言い換えれば、熟字表記においては、漢字一字一字が形態素を示しているのではな

く、熟字の形で語を表示するという機能を担っているのである（田島 2006）。実際、日本語の語彙の中で漢字二字熟語の占める割合は高く、日本語の国語辞典に掲載された語彙の約 70% が漢字二字熟語である（Yokosawa & Umeda 1988）。以上のことから、日本語母語話者は漢字を一字ずつではなく、二字熟語の単位で記憶していると考えられる。

## 2. 漢字文化圏と韓国語

それでは、数多くの中国語の漢語を有する韓国語を母語とする日本語学習者の場合は、漢字二字熟語を一字単位と二字単位のどちらで捉えて記憶しているのだろうか。韓国語は、文の構造や形態構造、語彙などが日本語とよく似ていると言われている（森下・池 1989）。また、韓国はもともと、日本と同様に漢字文化圏にあった。日本においてそうであったように、韓国においても、固有の文字を持たなかった時代には、漢字は韓国語を表記する唯一の手段であったのである（宋 2004）。そのため、漢語由来の語彙は韓国語にも存在し、韓国語の単語の 70% が漢語であるという事実もある（宋 2004）。たとえば、日本語の「安心」は同じ意味で韓国語にも存在する。現在の韓国語では通常、漢字の「安心」ではなくハングルの「안심」を用いるが、発音は日本語と非常によく似ており、日本語の音素表記が「aN siN」であるのに対して韓国語は「an sim」と、ほぼ同じ発音である。このように、日本語と韓国語には、同じ意味を持ち、しかも発音の類似した語彙が共通して存在している。

多くの共通点を持つ日本語と韓国語であるが、両者を大きく分かつ点は、実は、同じ漢字文化圏にありながら、日本語は漢字を表記形態として広く使用しているのに対して、韓国語は現在ではほとんど漢字を使用していないという点である。現在、すでに韓国では一般社会におけるハングル専用がほぼ完成され、漢字の渡来より 1500 年以上続いた表記としての漢字の役割は終焉を告げている（宋 2004）。現在の韓国人の漢字読み書き能力について、全国 49 の大学の 61 学科の卒業生 100 人を対象に行った調査（金 1997）によると、韓国の漢字能力検定試験 4 級の問題集を用いて試験を行った結果、100 点満点で平均が 29.5 点であった。この韓国の漢字能力検定試験 4 級では、漢字 1 千字の音と訓を読む能力と、500 字を書く能力が要求され、70 点以上を合格としている（宋 2004）。この調査では、漢字を読む能力と書く能力の両方を測定しているが、これを書く能力のみに絞ってみると、ハングルで書かれた漢語を漢字表記にする問題では、10 問のうち正解率は文字数で 0.82 字という低さであった。実際、韓国の学校教育において、現在では日本ほど漢字教育は行われておらず、自分の名前を漢字で書けない若者も多い。この調査からすでに 10 年が経過していることを考慮に入れると、現在では韓国でのハングル専用はますます進み、若い世代の漢字運用能力はさらに低くなっていることが予想される。

## 3. 本研究の目的

以上のように韓国語は、文法的に日本語との類似性が高く、日本語と同じ漢字文化圏にあり母語の中に漢語由来の語彙を数多く持っているにもかかわらず、日本語とは異なり、現在では漢字を表記形態として使用することがほとんどないという特徴をもっている。このことを認知心理学

的に言い換えれば、漢語の語彙は音聲的に存在している（漢語の音韻的表象群が存在する）ものの、それらはハングルで表記されるために韓国語母語話者は漢字表記で記憶してはならず（漢語の漢字表記での書字的表象は存在せず）、漢語の発音がわかったとしても、それがすぐに漢字に置き換えられることはない（音韻的表象から韓国語の漢字の書字的表象が活性化されることはない）ということになる。つまり、韓国語母語話者が日本語を学習する場合には、目標言語である日本語を通して漢字の書字的表象群が形成される可能性があると言えるであろう。

日本語母語話者に対して漢字二字熟語を音声提示した書字行動の実験（玉岡・高橋 1999）では、語彙使用頻度の高い漢字二字熟語の方が、語彙使用頻度の低い漢字二字熟語よりも想起時間（音声提示から漢字を書き始めるまでの所要時間）が短いことが証明されている。さらに、語彙使用頻度の高い漢字二字熟語の方が語彙使用頻度の低い場合よりも、一つ目の漢字の書字時間が短いことも、同研究で観察された。これらの結果は、語彙使用頻度が高い漢字二字熟語は、想起された際のイメージが強く（書字的表象の活性化が強く）、漢字が一字単位ではなく語彙の一部として記憶されていることを示している。この研究では、たとえば、新聞での語彙使用頻度（国立国語研究所 1973）が 2008 回の「消化」に含まれた場合の「消」の漢字と、435 回の「消失」に含まれた同じ「消」の漢字を書く場合とを比べると、語彙使用頻度の高い「消化」に含まれた「消」の漢字の方が「消失」に含まれた「消」よりも想起にかかる時間が短く、書字行動が早く始まることが明らかになった。つまり、漢字二字熟語に含まれる漢字は、まず単語のレベルで想起されて、その後に関々の漢字の書字的なイメージが浮かんでくるというのが、多くの場合の日本語母語話者の想起過程となっていると言えるであろう。

では、漢字二字熟語の音韻的表象群は持っているものの、書字的表象群は持っていないと考えられる韓国語母語話者は、どのような漢字想起と書字のメカニズムを用いているのであろうか。本研究では、韓国語を母語とする日本語学習者に対して漢字二字熟語の書き取りテストを実施し、漢字二字熟語の書字に対する①語彙使用頻度、②学習者の日本語能力の高低、③日本語と韓国語の語彙の音韻的類似性の影響を検討することにした。

## 4. テストの概要

### 4.1. 漢字二字熟語の選択と仮説

本研究で分析の対象とする漢字は、「行」、「安」、「囧」のような日本語の常用漢字で、日本語能力試験の配当級が 2 級から 4 級までの比較的簡単なものである。前述のように、韓国語を母語とする日本語学習者の漢字の記憶に影響を及ぼす要因の一つとして、語彙使用頻度を想定した。つまり、同じ漢字であっても、語彙使用頻度の高い漢字二字熟語の中にある場合にはターゲットの漢字の正答率が高く、使用頻度の低い熟語の場合には正答率が低いと考えられるのである。例えば、日本語能力試験 4 級配当の「行」という漢字は、日本語能力試験 3 級配当の「旅」と結合して「旅行」となることもあれば、同じく 3 級配当の「歩」と結合した場合には「歩行」となる。しかし、これら 2 つの漢字二字熟語の使用頻度は、朝日新聞の 1985 年から 1998 年までの 14 年分の記事データをもとに作成したデータベース『日本語の語彙特性』（天野・近藤 2003）による

と、「旅行」が20,593で、「歩行」が867と、大きく異なっている。つまり、漢字二字熟語としての「旅行」と「歩行」は、日本語学習者にとって漢字一字ずつの日本語能力試験配当級は同じであるが、熟語となった場合の使用頻度が大きく異なっていると言える。また、これらの熟語は、読み方も、それぞれの音読みの「旅(リョ)」「歩(ホ)」「行(コウ)」を結合して「旅行(リョコウ)」「歩行(ホコウ)」となっているだけである。したがって、日本語学習者が「リョコウ」や「ホコウ」といった読み方から熟語の漢字を想起する場合、仮に熟語を漢字一字の単位で想起するならば、日本語能力試験の配当級が同じ「旅」と「歩」に同じ漢字「行」が接続している「旅行」と「歩行」は、正答率に差はないはずである。しかし仮に、この二つの漢字二字熟語において、ターゲットとなっている「行」の漢字の書字の正答率が異なるならば、語彙としての使用頻度が漢字の想起に影響している可能性があると言えるであろう。

#### 4.2. 漢字二字熟語およびターゲット漢字の統制

一つの漢字に対して異なる二つの漢字を結合させて2種類の二字熟語を作り、その2種類の漢字二字熟語の使用頻度が高低2グループに分かれるようにターゲットの漢字を選択した。さらに、語彙使用頻度の高低で2つに分けたグループを、それぞれ二つ目(右側)の漢字を変えるものと一つ目(左側)の漢字を変えるものの2つに分けた。以上のようにして選択した漢字二字熟語は、高使用頻度が24個、低使用頻度が24個の計48個である。その他の統制条件は、日本語と韓国語の音韻的類似性、漢字二字熟語を構成する個々の漢字の画数、および日本語能力試験配当級である。語彙使用頻度(天野・近藤2003による)、個々の漢字の画数、日本語能力試験配当級については表1に、日韓音韻的類似性については表2に示した。音韻的類似性の算出方法については、後述する。表1に網掛けで示したターゲット漢字については、語彙使用頻度の高低2グループで同じものを使用した。漢字二字熟語に含まれるターゲットの漢字の左右の位置についても、半分ずつ同じ数になるようにした。その上で、同じターゲットの漢字を含む漢字二字熟語について、語彙使用頻度の高低を設定した。語彙使用頻度の高い24種類は、語彙使用頻度の平均が12,423(標準偏差が16,642)である。それに対して、語彙使用頻度の低い24種類は430(標準偏差が259)と低く設定した。両者を独立したサンプルの*t*検定で比較した結果、高低の語彙使用頻度に有意な違いがみられた [ $t(46)=3.455, p<.01$ ]。これは、本研究の実験条件である。

さらに、ターゲットの漢字と結合するもう一つの漢字の特性が同じになるように統制した。まず、画数が、語彙使用頻度の高い場合の平均が8.46画(標準偏差が3.04画)、語彙使用頻度が低い場合の平均が8.88画(標準偏差が3.66画)で、両者に有意な違いはなかった [ $t(46)=-0.429, n.s.$ ]。同様に、ターゲットの漢字と結合するもう一つの漢字の日本語能力テストの出題基準の級を、語彙使用頻度の高低で完全に同じになるようにペアで統制した。したがって、出題級は語彙使用頻度の高い場合も低い場合も同じで、平均が2.58級(標準偏差が0.65級)となり、当然、*t*検定の結果は有意ではない [ $t(46)=0.000, n.s.$ ]。

以上のように、画数と出題級が同等である2種類の漢字が、同じ漢字と結合した場合に、語彙使用頻度が2つのグループで大きく異なるように漢字二字熟語を選んだ。

表1 漢字テストで問題にした漢字二字熟語

| 高使用頻度の漢字二字熟語 |        |     |     |    |             | 低使用頻度の漢字二字熟語 |        |     |     |    |             |
|--------------|--------|-----|-----|----|-------------|--------------|--------|-----|-----|----|-------------|
| 熟語           | 語彙使用頻度 | 漢字1 | 漢字2 | 画数 | 日本語能力テスト配当級 | 熟語           | 語彙使用頻度 | 漢字1 | 漢字2 | 画数 | 日本語能力テスト配当級 |
| 出発           | 12796  | 出   | 発   | 5  | 4           | 出社           | 688    | 出   | 社   | 7  | 3           |
| 急死           | 1225   | 急   | 死   | 9  | 3           | 急病           | 286    | 急   | 病   | 10 | 3           |
| 食事           | 11003  | 食   | 事   | 9  | 4           | 食通           | 67     | 食   | 通   | 10 | 3           |
| 映画           | 37275  | 映   | 画   | 9  | 3           | 映写           | 169    | 映   | 写   | 5  | 3           |
| 安心           | 7039   | 安   | 心   | 6  | 3           | 安住           | 558    | 安   | 住   | 7  | 3           |
| 試作           | 1195   | 試   | 作   | 13 | 3           | 試用           | 71     | 試   | 用   | 5  | 3           |
| 採算           | 4301   | 採   | 算   | 11 | 2           | 採集           | 761    | 採   | 集   | 12 | 2           |
| 吸入           | 5358   | 吸   | 入   | 6  | 2           | 吸引           | 377    | 吸   | 引   | 4  | 2           |
| 危険           | 14254  | 危   | 険   | 6  | 2           | 危害           | 595    | 危   | 害   | 10 | 2           |
| 簡単           | 4154   | 簡   | 単   | 18 | 2           | 簡便           | 107    | 簡   | 便   | 9  | 2           |
| 血液           | 5675   | 血   | 液   | 6  | 2           | 血清           | 359    | 血   | 清   | 11 | 2           |
| 消化           | 2008   | 消   | 化   | 10 | 2           | 消失           | 435    | 消   | 失   | 5  | 2           |
| 地図           | 5152   | 地   | 図   | 6  | 3           | 海図           | 226    | 海   | 図   | 7  | 3           |
| 上空           | 4768   | 上   | 空   | 3  | 4           | 天空           | 177    | 天   | 空   | 8  | 3           |
| 年金           | 17181  | 年   | 金   | 6  | 4           | 入金           | 923    | 入   | 金   | 8  | 4           |
| 教室           | 10533  | 教   | 室   | 11 | 3           | 洋室           | 69     | 洋   | 室   | 9  | 3           |
| 医学           | 5820   | 医   | 学   | 8  | 4           | 勉学           | 360    | 勉   | 学   | 8  | 4           |
| 旅行           | 20593  | 旅   | 行   | 10 | 3           | 歩行           | 867    | 歩   | 行   | 6  | 4           |
| 原因           | 34289  | 原   | 因   | 10 | 2           | 敗因           | 861    | 敗   | 因   | 6  | 2           |
| 苦痛           | 2340   | 苦   | 痛   | 8  | 2           | 腹痛           | 651    | 腹   | 痛   | 12 | 2           |
| 残念           | 4577   | 残   | 念   | 10 | 2           | 無念           | 475    | 無   | 念   | 8  | 2           |
| 情報           | 78459  | 情   | 報   | 11 | 2           | 誤報           | 430    | 誤   | 報   | 12 | 2           |
| 演劇           | 6887   | 演   | 劇   | 14 | 2           | 観劇           | 339    | 観   | 劇   | 15 | 2           |
| 盗難           | 1260   | 盗   | 難   | 11 | 2           | 受難           | 476    | 受   | 難   | 18 | 2           |

注1: 網掛け部分の漢字はターゲットの漢字であることを示す。

注2: 「漢字1」は漢字二字熟語の左側の漢字であることを、「漢字2」は右側の漢字であることを示す。